Q 1 どのようにして感染するの？

A 1 ウイルスに感染している猫と喧嘩などによる咬傷で、猫の唾液に含まれるウイルスが傷口から侵入してしまうことが主な感染経路とされており、完全室内飼育が推奨されているのはこういった背景が大いにあります。ウイルス自体の感染力は強くなく、空気感染はしないとされています。

Q 2 感染するとどうなる？

A 2 感染後すぐに発症するわけではなく、無症状の潜伏期間（キャリア期）があります。いつ発症するかは分からず、発症すると数か月で死に至る病気ですが、ストレスのない生活が発症のリスクを下げるとされ、無症状のまま寿命を全うする猫もいます。

Q 3 人間やほかの動物に感染する？

A 3 ネコ科の動物以外には感染しません。

Q 4 発症させないためにはどうすればいい？

A 4 先述のとおり、ストレスをためない生活が重要です。具体的には、「トイレはいつも清潔に保つ」「キャットタワーなどを置いて十分に上下運動ができるようにする」「完全室内飼育にし、他の猫との感染症を減らす」など、ストレスフリーな環境を作り、めいっぱい愛情を注いであげましょう。

Q 5 キャリアではない先住猫がいる場合は？

A 5 先住猫への感染リスクを考慮し、居住スペースを分けられる場合を除き原則譲渡はおすすめしていませんが、どうしても気になる子がいればご相談ください。なお、感染防止策についてはかかりつけの動物病院にご相談ください。